

発刊に当たって

新しい学習指導要領においては、理科で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなどの科学的に探究する学習の充実を図ることとしています。

このことを踏まえ、北海道立教育研究所附属理科教育センターでは、理科の資質・能力の育成を目指した探究的な学習プログラムの開発等に取り組んでいます。また、1つの研修講座の中で複数の研修様式を組み合わせ、移動負担や感染リスクを軽減させつつ、研修効果の向上を目指した新しい形態の研修講座の運営を進めて参りました。本研究所がこれまで掲げているキーワード「現場第一主義」を大切にし、コロナ禍においても学校の抱える課題解決に少しでも役立つ発信ができたものと自負しております。

本研究紀要は、令和3年度に当センターの職員及び研究連携校の担当者が取り組んだ調査研究や教材開発等の成果をまとめたものです。各学校においては、本研究紀要を御高覧いただき、本道の理科教育の振興に広く役立てられるよう期待します。

令和4年3月

北海道立教育研究所長

鈴木 淳